

命いのちの見える眼まなこ

今年（二〇〇一年）の秋冬は、狂牛病まきうびょうが大問題となりました。

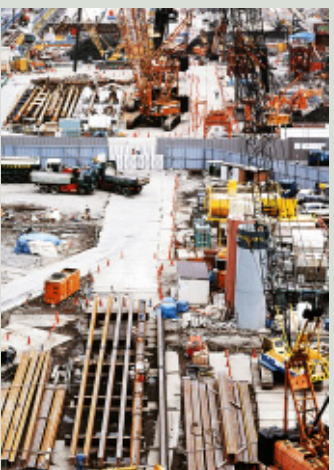
病気が伝染するのは、牛の肉や骨を砕いた肉骨粉くわいこふを牛に食べさせたのが原因だといわれています。

私がそのことを聞いて思ったのは、「そうすると肉が美味しくなるんだろなあ」とか、「そこまでしないと販売競争はんばいきさつに勝てないんだろなあ」といっていました。

誰かが、「牛は草食動物そうしょくどうぶつなんだから肉を食べさせたらマズイよねえ」というのを聞いても、「そのやあそうだ」程度にしか感じませんでした。しかし私は、心ある人に教えられてハッとしました。

実は、私たち人間は「牛に牛を」食べさせていたんです。それは、人間に人間の肉を食べさせるようなものですよね。

私は、お精進しやうじんの心の大切さを口では言い続けながら、そのことに気が付きもしませんでした。



私たち人間は、牛に牛を食べさせたり、また、そのことを聞いても、この問題に気がつかないほど、現代という時代に毒どくされている、他の命いのちが見えなくなっているんだと思います。

私たちは、どうすれば時代に流されない眼まなこを持つことができるのでしょうか？

お精進のすすめ



浄土真宗本願寺派 正信会

日常生活にお精進を

浄土真宗門徒は、毎月の肉親の命日や親鸞さまのしんらんご命日（16日）には、お精進して過ごす習慣があります。

お精進とは、肉魚卵にくめなまごを食べない食事のことです。残念なことに、最近は、通夜や葬式、年回などの仏事には、お精進を出しづらいと言う声を耳にしますが、まずは足下から。日常生活の中にお精進を取り入れてみましょう。

お精進の五徳

- ①少しでも殺生をつつしむことができる。
- ②肉魚卵が美味しく、有難くいただけるようになる。
- ③健康に良い。
- ④経済的。
- ⑤強くやさしい心が育つ。

発行 浄土真宗本願寺派安芸南組正信会
広島県呉市中央7-7-13 西教寺内
TEL 0823-21-2798 FAX 0823-21-2795